

令和2年度 外国人生徒キャリアサポート事業「進路セミナー」
実施報告書

令和2年1月
NPO法人愛伝舎

1 事業の概要

外国人生徒及び保護者が、日本の学校制度や働き方についての理解を深め、将来の生活を見通して進路を選択するための力を育成するために、外国人生徒が多く在籍する高等学校で、外国人生徒及び保護者向けのセミナーを実施する。

2 実施内容

(1) 三重県立飯野高等学校での進学・就職セミナー

- ① 日時 11月25日(水) 13:30~15:15
- ② 場所 三重県立飯野高等学校(鈴鹿市三日市町字東新田場1695)
- ③ 参加者 生徒1年生47名
ブラジル22名、ポリビア7名、ペルー3名、メキシコ1名
フィリピン11名、ベトナム1名、日本1名、不明1名
- ④ 内容
・講演「日本の社会での進学と就職に向けて」(45分)
・卒業生からのお話「高校生の皆さんへ・先輩からのメッセージ」(35分)
・質疑応答、アンケート記入

○ 講演「日本の社会での進学と就職に向けて」

講師：NPO法人愛伝舎 坂本 久海子



「ダイバーシティ社会」に関する三重県鈴木英敬知事のメッセージを紹介し、これからの日本社会が向かう方向性について伝えました。その後、資料を使って、世界の言語別話者数、大学・短期大学・専門学校の特徴や費用、奨学金、働き方による生涯賃金や社会保障の違いについて説明をしました。また、英語コミュニケーション学科の生徒にとって、語学力は将来の大きな力になり、高校での英語の学習と母語と日本語という複数の言語の獲得で、より専門的な職業に就けることを紹介しました。

○ 卒業生からの話「高校生の皆さんへ・先輩からのメッセージ」

講師：宮野 美幸(ブラジル出身、飯野高校卒業生)



自分自身の経験を踏まえ、高校時代にしておいて良かったことやもっとしておけば良かったことを話してくれました。

良かったことは、日本語検定2級の取得と英語のTOEICの試験で高校在学中に830点を取ったこと。大学卒業時にはTOEIC930点を取っており、就職の際の面接で、とても大きなアピールポイントになるため、在学中に勉強をする必要性を説いてくれました。

一方で、もっとしておいたら良かったこととして、もっと日本人の生徒と交流しておくことを挙げていました。いつも外国籍の生徒と過ごしていたけれど、高校在学中に日本のルールや習慣を身につけておけばよかったと反省を踏まえたエピソードを話してくれました。

身近な存在の先輩からの話は、生徒にとってわかりやすくしっかり届いたように思いました。終了後、多くの生徒が宮野さんを囲み、たくさんの質問をしていました。



○ その他



この日は、名古屋出入国在留管理局の受入調整担当職員2名が視察に来ており、セミナー後には、参加生徒から在留資格についての質問を受けていました。

入管の方に、日本で学ぶ外国にルーツのある高校生の姿を知ってもらう機会にもなりました。

○ 参加した生徒の感想

- ・ この授業を通して、進学や就職のことに役立ちました。高校の時どんな資格を取ったらいいのか、先生方から詳しく説明してくれました。
- ・ 今から何をするのがいいかもっと考える。お金の準備をします。私は永住者なので、いろんな仕事ができることを知れてうれしいです。自分の母語と英語と日本語を勉強していますので、もっといろんな言語を話したいので、はじめから勉強をします。
- ・ せんぱいと同じくらいになりたいです。中学はくるしい時代でも高校でできることをがんばります。来年TOEICや英検を受験するつもりです。
- ・ 私たち外国人に将来のことを考えられるようにするセミナーをすることは良いと思います。せんぱいのお話がすごく良かったと思います。毎年このようにせんぱいのお話が聞けると私たちに良い影響を与えられると思います。
- ・ 私が知らなかったことを知ることができる、うれしいです。これからはTOEICのテストをうけるために勉強したいです。
- ・ とてもわかりやすく、内容も難しくなかったので良かったです。私は将来警察官になりたいので、資格などを取ってより、自分のためになっていたら良いと思います。
- ・ 元々こういう感じのことをよく考えていたため、他の人の意見とかも聞けて良かったです。今日の話聞いて、自分の将来についてもっと考えるようになりました。大学と就職の順番を変えたらどうなるか考えてみました。免許と車を買う事をゆうせんしたいので、順番を変えてみようと思いました。
- ・ 今日は楽しかったです。外国人の話は楽しかったです。大学の話はちょっとむずかしかったです。せんぱいのじこしょうかいはすごくよかったです。
- ・ とてもいい説明だったと思います。自分の進路について考えられるので、良かったと思います。このような授業が増えればいいな～と思いました。
- ・ 今日で進学について少し学んで、自分の進路をどのように決めていくのか改めて考える機会でした。自分の進路について、もっと大事に考えて頑張っていきたいと思ったので、このセミナーに出席してとても良かったと思っています。
- ・ 自分の行きたい大学がどこか、何をしたら行けるのか勉強して、もっと大学のことが知れました。だからもっと勉強して大学に行けたらなと思います。

(2) 三重県立みえ夢学園高等学校での就職・進学セミナー

- ① 日時 12月9日(水) 12:45~13:45
16:00~17:00

※三重県立みえ夢学園高等学校は、昼間定時制及び夜間定時制があり、より多くの生徒に参加していただけるよう、2回実施(内容は同じ)

- ② 場所 三重県立みえ夢学園高等学校(津市柳山津興1239)
- ③ 参加者 生徒28名(1年生11名、2年生10名、3年生4名、未記入3名)
国籍 フィリピン22名、中国1名、ペルー1名、ボリビア3名、ブラジル1名
- ④ 内容 ・ 講演「日本の社会での就職と進学に向けて」(20分)
・ 日本で働く外国人の方からのお話「日本で働くこと」(30分)
・ 質疑応答、アンケート記入

○ 講演「日本の社会での就職と進学に向けて」



講師：NPO法人愛伝舎 坂本 久海子
「ダイバーシティ社会」に関する三重県鈴木英敬知事のメッセージを紹介し、これからの日本社会が向かう方向性について伝えました。その後、資料を使って、世界の言語別話者数、大学・短期大学・専門学校の特徴や費用、奨学金、働き方による生涯賃金や社会保障の違いについて説明をしました。新型コロナウイルスの影響によって、雇用状況が不透明になる中、正規雇用に就く重要性を伝えました。

○ 日本で働く外国人の方からのお話「日本で働くこと」



講師：Joey Lara Andaya
(フィリピン出身、日本トータル情報事業協同組合フィリピン語通訳管理)

「日本に来て、日本語がよくわからない中で働き続けて、辛い体験や厳しい体験はたくさんあったけれど、人は変えられない、自分が変わるしかないと努力し続けていたら、たくさんの人に助けられて暮らしてこられました。大人になってから日本に来たので、日本語学習は独学でした。僕から見ると、日本の学校で勉強できる皆さんが羨ましいです。勉強ができる時間を大切にしてほしいし、自分のために努力してチャンスをつかんでほしいです。学校の先生たちもみんなを見守っているので、一人で抱え込まないで周りの人の支えを受けて、明るい将来を開いてください。」と、熱く語っていただき、生徒たちの心にもしっかりと響いた様子でした。

○ 参加した生徒の感想

- ・ 日本と外国ではまったく違う文化があることを知れた。
- ・ 勉強をもっとがんばりたいと思いました。
- ・ 話はとってもおもしろかったです。参考になりました。
- ・ 日本語の勉強をいっしょうけんめいしていきたいです。
- ・ 日本の知らないしくみを知ることができたのでよかったです。
- ・ これからの将来のためにできることなど、いっぱい学ぶことができました。
- ・ 今聞いて学んだことを、将来につなげていきたいと思います。
- ・ 勇気をもらいました。努力はたいせつだと改めて思いました。
- ・ メンタルの強さを見習いたい。
- ・ これからは苦手なことでも努力します。最高のアドバイスでした。
- ・ 楽しかったです。
- ・ 日本の文化についてもっと知りたいです。(就職後、上司や先輩との話し方)
- ・ とても満足しました。
- ・ 日本に来て小学校に入学して全く日本語を知らなかったけど、クラスでフィリピン人もいないし、英語で話してくれる人がいなかったからすごいはずかったです。でも、クラスメイト達から話してくれたり、遊んでくれたりしてジョーイさんが言ったように楽しみながら勉強しました。

(3) 日本の教育制度及び働き方に関する多言語資料の作成



令和元年度に作成した内容に、大学等へ進学時の奨学金の項目を加え、4言語(ポルトガル語、タガログ語、英語、日本語)作成し、上記セミナー参加者へ配付しました。

【三重県教育委員会委託事業以外の活動】

ブラジル人保育園での保護者・支援者対象セミナー



四日市市のブラジル人保育園で開催した保護者・支援者対象セミナーで本資料を配付しました。日本の教育制度や関係情報について、保護者・支援者が知らないこと、理解していないことが多いと感じます。保護者及び支援者が日本の教育環境について理解していくことが重要であると考えます。

3 成果と課題

本事業は、今年で2年目となりました。1年目の事業を通して、外国人生徒及び、保護者が日本の教育制度や働き方に対する知識が少なく、そのために長期的な視野に立つての将来をイメージすること、準備をすることが十分ではない実態が浮かび上がりました。さらに、今年度は新型コロナウイルスの影響で、雇用状況が悪化し、非正規雇用で働く外国人が職を失うなど、外国人生徒の家庭環境への影響も現れてきています。この数年の比較的安定した雇用状況が一転したことで、非正規雇用の不安定さが浮き彫りになったこともあり、本事業のセミナーにおいて、正社員で働くことの重要性をより具体的に説明しました。

また、日本語学習で苦勞するケースが多く見られるが、世界を俯瞰してみると彼らの母語は話者数では多数派であるということの説明をしました。つまり、日本語+母語を話せることでより多くの人とコミュニケーションが取れ、仕事のチャンスも広がること、いずれ母国に帰国しても日本語ができることで仕事の選択肢も広がる可能性があるということをお伝えしました。

セミナーに参加した生徒の感想では、「自分の将来についてもっと考えるようになりました。」「これからはTOEICのテストを受けるために勉強したい。」など、自分の将来を真剣に考え、今の学習に前向きに取り組みたいといった内容が多く見られました。さらに、外国にルーツを持つ方からの話を聞き、「先輩のようになりたい。」といった親近感が表現される内容も見られました。

大学等での学びや日本で働くということに関する知識を得ることで、将来を真剣に考えるきっかけとなることが分かったと同時に、日本で暮らす外国人生徒が抱える悩み等を当事者であり経験者でもある外国人の先輩や大人と共有することの必要性を改めて感じました。

一方で、本事業のようなセミナーで情報を得る機会がない外国人生徒はまだ多くいます。彼ら・彼女らに日本で学び・働いていくための情報を届ける道筋を作り、より多くの生徒が情報を精査したうえで納得のいく進路選択をできるよう、引き続き事業に取り組んでいきたいと思っております。

多様性を持つ生徒たちの可能性が発揮される社会になることは、生徒の人生だけでなく日本社会の豊かさにもつながります。学校、地域、企業など社会の様々な人が連携し、今後も「外国人生徒キャリアサポート事業」が発展できるよう願っています。

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 愛伝舎

〒510-0211

鈴鹿市東旭が丘 3-5-3

メロディハイツⅡ102

<https://aidensha.org/>

☎ 080-3667-5129

✉ aiden@hotmail.co.jp

担当 坂本・伊藤・前田・矢田